

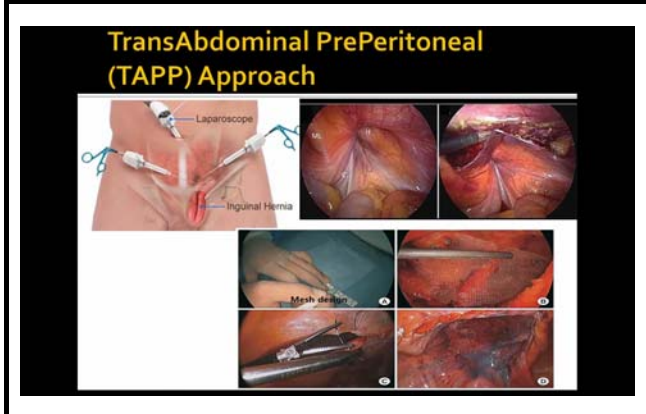
<p>【イベント名】 低侵襲ヘルニア手術遠隔医療フォーラム</p>	<p>【概要】 今回のフォーラムはパーペチュアル救済病院にとって遠隔医療活動を開始する最初のイベントであり、幾つかの異なるヘルニアの症例とその挑戦的な低侵襲手術に焦点を当てた。今回が初めての接続であるにもかかわらず、セッションは滞りなく進められた。講義は広範囲にわたり、非常に興味深く活発な議論が展開した。今回の活動は、協力的な医療教育を持続的に提供し、国境をも超える繋がりを得る手段としての技術の活用における遠隔医療の持つ力および重要性を的確に示すものとなった。</p>
<p>【期日】 2019.09.21</p>	
<p>【会場】 バギオ総合病院・医療センター(フィリピン)、ブラック・ナザリオン病院(フィリピン)、ダグバン・ドクターズ・ピラフラー記念病院(フィリピン)、セントルークス医療センター ケソン市(フィリピン)、国立腎臓・移植センター(フィリピン)、アジア病院 医療センター(フィリピン)、デ・ラ・サル大学メディカルセンター(フィリピン)、Dr. フェルナンド B. デュラン, Sr. 記念病院(フィリピン)、フィリピン先端科学技術機構(フィリピン)、パーペチュアル救済病院(フィリピン)、ヴィセンテ・ソット記念医療センター(フィリピン)、イロイロ市セント・ポール病院(フィリピン)、ダバオ ドクターズホスピタル(フィリピン)、九州大学病院(日本)、伊都クリニック・才全会(日本)</p>	



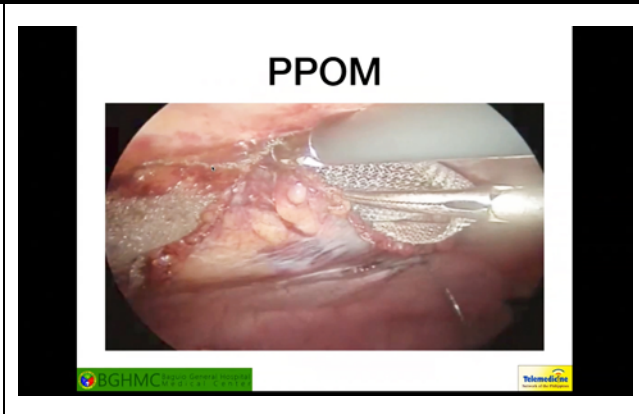
挨拶をするDr. Alan Simporios。  
撮影場所：パーペチュアル救済病院



モニタに映し出される接続施設。  
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。  
撮影場所：九州大学病院



提示された手術動画。  
撮影場所：九州大学病院



ダバオ ドクターズホスピタルの様子。  
撮影場所：九州大学病院



メイン会場であるパーペチュアル救済病院での集合写真。  
撮影場所：パーペチュアル救済病院